

平成24年7月6日

名古屋産業大学
専任教員・非常勤講師 各位

教育研究センター
センター長 成田 暢彦

「学生による授業評価アンケート」の集計結果について

平成13年度後期から始めました授業改善のための「学生による授業評価アンケート」は、平成23年度で11年目を迎えました。これまでのアンケートの結果をみますと、着実に成果が上がってきております。これもひとえに皆様のご協力によるものと感謝しております。

さて、平成23年度の秋学期 Semester におきましても1月第4週に皆様のご協力により「学生による授業評価アンケート」を実施させていただきましたが、結果がまとまりましたので、別紙の通り報告いたします。

今回の結果を前年同期（平成22年度後期）と比較しますと、B項目では9項目中4項目で0.1ポイント評価が上昇し、5項目では同じ結果となっております。評価が上昇した項目中B(7)「授業内容はシラバスに沿ったものでしたか」B(9)「あなたがこれから社会に出るにあたって、あるいは専門の授業を受講するにあたって、この授業には何らかの形で役に立つ内容が多く含まれていましたか」は、4.2ポイントとなっており、皆様の教育方法へのご努力が反映されているものと思われま

す。また、平成23年度春学期と比較しますと、B項目はすべての項目で0.1ポイントずつ評価が上昇しております。皆様の教育への熱意が学生にも伝わったものと考えております。

いずれにしましても、B項目の評価ポイントでは全ての項目で4.1ポイント以上となっております。皆様のご努力が成果となって現れてきているものと思われま

す。A項目につきましては、主体的な学習については、平成23年度春学期と比較しますと0.2ポイント改善され、今後のさらなる改善が望まれます。

今回の結果をご参考にしていただき、今後ますますの授業改善に役立てていただければ幸いです。